



## 2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月14日

上場会社名      ぴあ株式会社      上場取引所   東  
コード番号      4337      URL    <https://corporate.pia.jp/>  
代表者      （役職名） 代表取締役社長      （氏名） 矢内 廣  
問合せ先責任者      （役職名） 専務取締役コーポレート担当      （氏名） 吉澤 保幸      TEL    03-5774-5278  
配当支払開始予定日      —  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無      ： 無

（百万円未満切捨て）

### 1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第1四半期	13,667	33.1	2,351	253.1	2,371	265.2	1,564	158.0
2025年3月期第1四半期	10,270	4.0	665	△26.8	649	△29.6	606	△32.3

（注）包括利益    2026年3月期第1四半期      1,552百万円（149.6％）      2025年3月期第1四半期      622百万円（△31.0％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	102.16	—
2025年3月期第1四半期	39.68	—

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期第1四半期	116,758	8,791	7.5
2025年3月期	102,150	7,239	7.1

（参考）自己資本    2026年3月期第1四半期      8,788百万円      2025年3月期      7,235百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—				
2026年3月期（予想）		0.00	—	10.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	47,000	3.6	3,400	29.0	3,200	34.6	2,300	44.5	150.20

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 (社名) ぴあライブクリエイティブ株式会社、除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期1Q	15,656,713株	2025年3月期	15,656,713株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	344,463株	2025年3月期	343,336株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期1Q	15,312,397株	2025年3月期1Q	15,278,506株

(注) 株主資本において自己株式として計上されている株式給付信託 (BBT及びBBT-RS) が保有する当社株式は、1株当たり当期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、決算短信 (添付資料) 2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書 .....	5
四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) .....	7
(会計方針の変更に関する注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や企業業績の回復などを背景に緩やかな回復基調となった一方、米国の通商政策による世界経済への影響など、依然として先行き不透明な状況が続いております。その中であって、当社が事業基盤とする国内レジャー・集客エンタテインメント市場は、ライブ・イベント開催の活発な動きが継続し、大規模会場・大型興行の増加、動員数やチケット単価の上昇等により、コロナ禍前を大幅に上回る規模で極めて好況に推移しております。

こうした経営環境下、中期経営計画(2023～2025年度)の3年目となる当第1四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、来日アーティストの大規模公演、人気グループの全国ツアーをはじめ、大型興行、大規模フェス、プロスポーツ、ミュージカル、レジャー等のチケット販売が好調に推移した結果、取扱高ベースでの売上は850億円を超える規模となり、四半期単位では過去最高の水準となりました。また、大阪・関西万博のチケット販売や関連出版物の収益増もあり、約7%の給与アップを含めた人的資本投資、新規事業への開発投資を吸収する形で、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益のすべてにおいて前期実績を大幅に上回り、期初想定に沿って順調に推移しております。同時に、昨年10月からのチケットびあサービス利用料の一部改訂により、コスト構造の改善を図るとともに、デジタル化時代のニーズに伴うセキュリティの強化、次世代に向けたシステム改修を鋭意進めております。

以上の結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間は、売上高136億67百万円(対前年同期比133.1%)、営業利益23億51百万円(対前年同期比353.1%)、経常利益23億71百万円(対前年同期比365.2%)、親会社株主に帰属する四半期純利益15億64百万円(対前年同期比258.0%)となりました。

売上に貢献した主なイベントや商品は次のとおりであります。

<イベント(主催事業含む)>

- ・大阪・関西万博
- ・プロ野球公式戦／サッカーJリーグ／大相撲
- ・ONE OK ROCK／Mrs. GREEN APPLE／Vaundy
- ・LADY GAGA／Travis Scott／Billie Eilish
- ・Stray Kids／NiziU
- ・ROCK IN JAPAN FESTIVAL／Animelo Summer Live 2025／WILD BUNCH FEST.
- ・ミュージカル「レ・ミゼラブル」ワールドツアースペクタキュラー
- ・初音ミク「マジカルミライ」

<メディア商品>

- ・「大阪・関西万博びあ(第一弾)」
- ・「大阪・関西万博びあ(完全攻略編)」
- ・「森のカフェと緑のレストラン」シリーズ
- ・「HYDE写真集」

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、1,167億58百万円となり、前連結会計年度末と比較して146億8百万円増加いたしました。流動資産は940億96百万円(前連結会計年度末比144億34百万円増)となりました。変動の主なものは、現金及び預金の増加(同85億63百万円)と売掛金の増加(同48億75百万円)であります。また、固定資産は226億61百万円(前連結会計年度末比1億74百万円増)となりました。変動の主なものは、無形固定資産の増加(同3億48百万円)であります。

負債は、1,079億66百万円となり、前連結会計年度末と比較して130億55百万円増加いたしました。流動負債は895億38百万円(前連結会計年度末比132億73百万円増)となりました。変動の主なものは、買掛金の増加(同141億13百万円)であります。また、固定負債は184億27百万円(前連結会計年度末比2億18百万円減)となりました。変動の主なものは、長期借入金の減少(同2億56百万円)であります。

純資産は、87億91百万円となり、前連結会計年度末と比較して15億52百万円増加いたしました。主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が15億64百万円増加したことによるものであります。これにより、コロナ禍で生じた累損を一掃し、復配への見通しを高めるとともに、純資産は、四半期末ベースにおいても過去最高値を更新しております。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想につきましては、2025年5月15日に公表しました予想数値に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	46,301	54,864
売掛金	27,774	32,650
棚卸資産	119	101
その他	5,496	6,514
貸倒引当金	△28	△34
流動資産合計	79,662	94,096
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,317	10,176
工具、器具及び備品（純額）	534	543
土地	724	724
その他（純額）	57	14
有形固定資産合計	11,634	11,459
無形固定資産		
ソフトウェア	4,601	4,306
ソフトウェア仮勘定	1,311	1,878
その他	38	115
無形固定資産合計	5,951	6,299
投資その他の資産		
投資有価証券	1,125	1,161
その他	4,156	4,181
貸倒引当金	△380	△441
投資その他の資産合計	4,901	4,901
固定資産合計	22,487	22,661
資産合計	102,150	116,758

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	60,204	74,318
1年内返済予定の長期借入金	1,018	1,020
未払金	5,156	2,916
未払法人税等	421	1,075
賞与引当金	581	13
その他	8,883	10,194
流動負債合計	76,265	89,538
固定負債		
長期借入金	16,601	16,345
株式給付引当金	358	366
退職給付に係る負債	88	99
資産除去債務	1,320	1,336
その他	276	279
固定負債合計	18,645	18,427
負債合計	94,910	107,966
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,468	6,468
資本剰余金	2,634	2,634
利益剰余金	△874	689
自己株式	△987	△987
株主資本合計	7,240	8,804
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4	5
為替換算調整勘定	△21	△27
退職給付に係る調整累計額	11	5
その他の包括利益累計額合計	△5	△16
非支配株主持分	3	3
純資産合計	7,239	8,791
負債純資産合計	102,150	116,758

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 6 月30日)
売上高	10,270	13,667
売上原価	6,370	7,485
売上総利益	3,900	6,181
販売費及び一般管理費	3,234	3,830
営業利益	665	2,351
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	2	1
持分法による投資利益	44	42
諸債務整理益	6	52
助成金収入	30	29
その他	8	0
営業外収益合計	91	125
営業外費用		
支払利息	54	83
その他	54	21
営業外費用合計	108	105
経常利益	649	2,371
税金等調整前四半期純利益	649	2,371
法人税等	43	807
四半期純利益	606	1,564
非支配株主に帰属する当期純損失 (△)	—	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	606	1,564

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	606	1,564
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11	0
退職給付に係る調整額	△0	△5
持分法適用会社に対する持分相当額	5	△6
その他の包括利益合計	15	△11
四半期包括利益	622	1,552
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	622	1,553
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

当社の四半期連結財務諸表は、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略を適用）に準拠して作成しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

税金費用については、一部の連結子会社を除き、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）

当社グループの報告セグメントは、「レジャー・エンタテインメント関連事業」を主要な事業としており、その他の事業セグメント重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

当社グループの報告セグメントは、「レジャー・エンタテインメント関連事業」を主要な事業としており、その他の事業セグメント重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	640百万円	627百万円